

宇都宮製作 創業120周年 高品質な医療品の安定供給に邁進

創業150周年、200周年に向け、意欲

創業120周年は大きな節目である反面、未来への通過点とも言えます。今後、創業150周年、創業200周年に向けての思いについていました。そこで社長 織から社屋商品構成、果モノづくりや商品構成、流率先垂範のバイオニアが約束されている訳では決していません。



「会社の舵取りを考える良い機会」(大西)

創業120周年を迎えたことについて、率直な感想を聞かせて下さい。

大西会長「創業者をはじめとした諸先輩達のお陰で、創業120周年を迎られ感謝の思いで一杯です。そ

して、これまでの自社の歩みを振り返りながら、将来に向けて会社をどう舵取り

めました。他なりません。そして、これからは私たちが、新しい歴史を作り上げていく。そ

していくのか?それを考えたことについて、率直な感想を聞かせて下さい。

大西社長「私は、当社に

入ってまだ15、6年で、当社の120年間の歴史は、諸先輩が築いてきたものに

おも大切にしたいと思って

宇都宮製作の前身の宇都宮商店が大阪・船場に創業したのは、1903(明治36)年のことだ。そこから今年で120年目を迎えることになる。明治、大正、昭和、平成、そして令和と。同社は、それぞの時代に対応しながら、その間に一貫して高品質な医療品を世の中に送り届け続けてきた。今回、宇都宮製作創業120年の節目にあたって、大西健路会長、大西浩太郎社長に話を聞いた。

1903(明治36)年に大阪・船場で創業 明治、大正、昭和、平成、そして令和と駆け抜けた120年

大西健路会長と大西浩太郎社長に聞く



「当たり前のこと当たり前にやる」(大西)

創業120周年を将来に向かってチャレンジを始める契機にしたいと思います」

—10年前の創業110周年の時には、大西会長、大西社長らで創業者・宇都宮宇作氏の故郷である愛媛県西予市を訪ねられました

—コロナ禍には、安定供給が厳しい局面も発生した

大西会長「コロナ禍において商品の安定供給を達成できたのは、やはり協力

しました。しかし、商品を安

定供給するこ

とは当社の存

在意義であ

り、そのこと

が社会貢献に

直結している

と理解してい

ます。大きな

瑕疵もなくコ

ロナ禍中の激

動を乗り越え

た今、改めて

当社の存在意

義を再認識

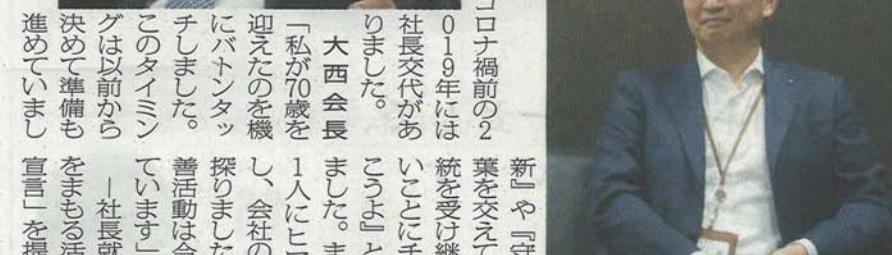
し、それを今

後より磨いて

いきたいと考



大西浩太郎社長



大西健路会長



人と環境の未来をまもる ウツノミヤ宣言

私たちを考えました。

社会のために、持続可能な何ができるのだろう?
次の世代、未来を生きる子どもたちのために、
できることって何だろう?

詳しくは [宇都宮製作](#) 検索



Since 1903
宇都宮製作株式会社
Utsunomiya Seisaku Co., Ltd.

<https://www.u-seisaku.co.jp/>